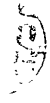


供 述 調 書	
本 籍	
住 居	██████████ (電話)
職 業	会社員 (電話)
氏 名	有 永 博
	昭和 23 年 7 月 10 日生 (56 歳)
上記の者に対する	贈 賄 被疑事件につき、我々 年
	9 月 29 日 別府署 において、本職は、
あらかじめ被疑者に対し、自己の意思に反して供述をする必要がない旨を告げ	
て取り調べたところ、任意次のおり供述した。	
1	刑事さんから、私に供述拒否権があることについて説明を受けていま
	すが、その意味についてはよく分かっています。
2	私は、平成 12 年 12 月 18 日、入札が行われた湯布院町発注の
	平成 12 年度無線放送施設設置工事
	に関し、当時沖電気工業株式会社九州支社副支社長で、この防災無線工
	事の受注に向けて営業活動をしてくれていた中島繁さんや、沖電気工業
	株式会社の営業活動支援をして貰っていたインフォメーションネット九
	州の代表取締役である江藤憲行さん等と一緒に、平成 12 年 12
	月下旬ころ、吉村格哉湯布院町長に 300 万円の賄賂をあげた事実で逮
	捕され現在拘留中の身であります。
	私はこの当時、沖電気工業では防災無線に関する全国の自治体営業を
	統括する責任者という立場にありましたが、私自身、吉村町長にあげる
	賄賂金であるということを充分承知したうえで

大 分 県 警 察



各社がしのぎを削っているような場合には、低い金額で入札することになるのです。

また2回目、3回目の入札金額まで設定するかどうかは、ケースバイケースであり、設定する際には固定した金額ではなく幅を持たせていることが多いようです。

しかし3,000万円以上の全ての工事の入札価格の決定において判定会議が開催されている訳ではなく、例えばネゴ、つまり談合していても当社の支社がチャンピオンになっている場合には、支社の担当者等から私か竹内に

「これでいきますから。」

等と入札金額の連絡があることもありますし、その時には金額が原価割れしていないことを確認して承知するのです。

もちろんこの反対もあり、チャンピオンになれずに譲る場合には、その旨の報告があります。

そしてこれは希なことですが、予定価格を掴んでいる場合でも、その価格ちょうどで入札することはありません。

それは落札して契約しても、議会の承認が必要な物件もあり、その時議会から疑われないよう、予定価格よりは若干低めで入札しているのです。

今回の湯布院町の防災無線工事の場合、入札判定会議が開催されているかどうかははっきりしませんが、私が出席したという記憶はありません。

入札金額については、入札日前の週の水曜日か木曜日ころに大谷君



大分県警察



	から電話連絡があり、
	「湯布院は他の会社と話をしており、まだ一部残っていますが
	各社の意向は大丈夫のようです。
	2億5,000を少し切る金額で行こうと思っています。
	これなら大丈夫だと思います。」
	等と報告を受けたように記憶しています。
	大谷君が言う意味は、指名に入っている
	日本無線株式会社九州支社 株式会社日立国際電気九州支社
	株式会社九州支社 富士通株式会社大分支店
	三菱電機株式会社九州支社
	と話をし、支社が受注する方向で話を進めており、まだ全て終わったわ
	けではないものの、各社とも談合に応じ、九州支社がチャンピオンにな
	れそうだということなのですが、もちろん私は積算結果を知っており、
	大谷君が言った「2億5000を少し切る金額」つまり2億5,000
	万円より少し低い金額が、当社が積算した金額よりかなり高めだったと
	いうことを覚えていますし、もちろん原価割れではありませんでしたか
	ら、私もその金額で入札することを承知しているのです。
10	その後週明けの12月18日に湯布院町防災無線工事の入札が行われ、
	九州支社からは大谷君と倉田さんが入札に行きましたが、入札の結果は、
	大谷君から
	「湯布院は三菱電機が入札を辞退し、うちが1回目で、2億
	4千〇〇万で落札しました。」
	という報告を受けており、私は




平成12年度無線放送施設設置工事

に関し、当時沖電気工業株式会社九州支社副支社長で、この無線放送施設設置工事の受注に向けて営業活動をしていただいていた中島繁さんや、沖電気工業株式会社九州支社の営業活動支援をしていた株式会社インフォメーションネット九州の代表取締役である江藤憲行さんと一緒になり、当社を同工事で指名選定し、工事を受注させて欲しい等と湯布院町長である吉村格哉さんにお願ひし、さらに指名業者として選定してくれ、メンバーセットまでしてくれた謝礼として平成12年12月20日に吉村町長に現金300万円を差上げたことに間違いありません。

有永 博

以上のとおり録取し、閲覧させた
 以上、謝礼の件につき申し記署名指印した。
 同日

大分県警察本部 刑事部 捜査第二課
 司法警察員 警部補 衛藤 達 

大分県警察